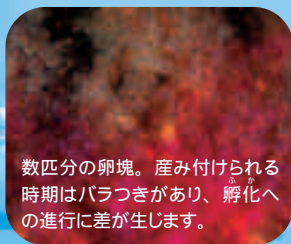


リアスコースト南三陸
水中樂園 ⑨

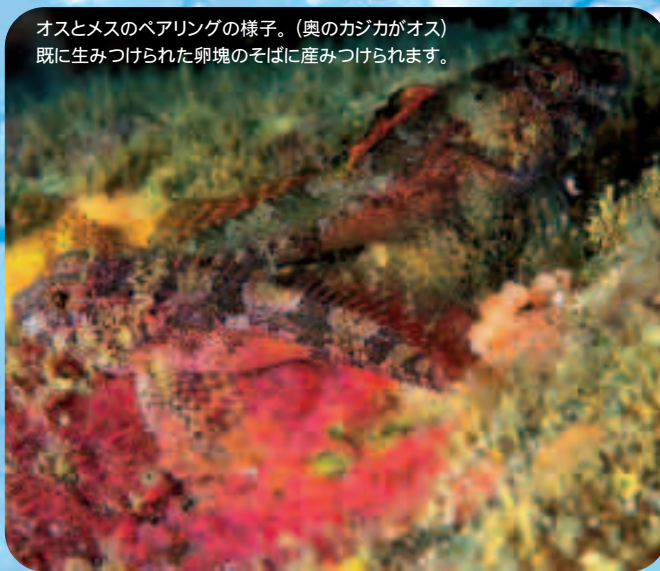
オスとメスのペアリングの様子。(奥のカジカがオス)
既に生みつけられた卵塊のそばに産みつけられます。



オスの抱卵の様子。顔の下に見える赤い粒は全て卵塊。



数匹分の卵塊。産み付けられる時期はバラつきがあり、孵化への進行に差が生じます。



桜のように美しい
ヒメフタスジカジカの卵塊

暖冬の今年には各地からの桜の便りも例年より早めに訪れそうです。

陸上は春風がさわやかな季節となりつつありますが、水中は一般的に陸上よりも約2カ月遅れて春が訪れます。皆様おなじみの魚たちは、水温が上がりが始める藤の花が咲くころから活発になりますが、この低水温期をうまく利用している魚たちも多くいます。

志津川湾に住む小型魚種の多くは、大型の魚達が活動を休止する冬に繁殖期を迎えるものが一般的です。フィールドのあちこちで懸命に命を育んでいるのです。

そんな健気な繁殖活動を写真に収めるには、冬をなくしては語れません。今回、その中からご紹介するのはヒメフタスジカジカです。

成魚でも5〜6センチメートルほどの小型のこの魚は、オスが縄張りを持ち、複数のメスはその場所に産卵にやってくるといった具合で繁殖活動を行います。

メスが近づくくとオスは婚姻色といわれる黒っぽい色にドレスアップし、メスへのアプローチを開始します。メスはオスのアプローチが気に入ると、その場所に卵を産みつけ、はがれ落ちないようにしっかりと粘着させます。メスの役割はそこまでで、孵化までの子育てはオスが担います。

この時期は、水中でも陸上の桜に負けないくらい美しい卵塊が数多く観察できる、素晴らしい季節なのです。

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

編集後記

▶「インターネット白書2006」によると、自宅のパソコンでインターネットを利用している家庭は、57.3パーセントだそうです。▶かなりの普及率ですが、まだ半数が利用していないとも言えます。▶町では「南三陸iなっと」サービスを開始。(本紙4ページ掲載)▶このシステムの公共端末は、インターネットの利用ができます。▶町ではホームページでの情報提供サービスにも力を入れていますので、これまで見る環境がなかった方は、ぜひ公共端末をご利用ください。担当佐藤

●日曜当番医

4/1 ささはら総合診療科
☎47-1066(志津川字汐見町)

4/8 佐藤徹内科クリニック
☎47-1175(志津川字廻館前)

4/15 高橋クリニック
☎46-4315(志津川字中瀬町)

4/22 本田記念あおいクリニック
☎46-4530(志津川字十日町)

4/29 南三陸志津川クリニック
☎47-2777(志津川字塩入)

●第1・第3日曜歯科当番医

4/1 大谷歯科診療所
☎44-3131(本吉町三島)

4/15 佐藤歯科クリニック
☎46-4182(志津川字南町)

※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。